

(Page 2)

.... A turbine shaft 1 is supported by the lower half 3 of a bearing support through a (slide) bearing. The upper half 4 of the bearing support is joined along a horizontal flange surface to define a sealed chamber that is sealed from the atmosphere.

A suitable amount of lubricating oil is supplied through an oil supply hole 5 formed in the lower half 3 of the bearing support, an annular chamber (oil reservoir) 6 formed around the bearing 2, and a plurality of radial oil supply holes 7 to the gap between a bearing metal 8 and the turbine shaft 1.....

Between the turbine shaft 1 and the respective lower and upper portions 3 and 4, which cooperate to define the sealed chamber, a pair of oil seal rings 9A and 9B, which are separated from each other along a horizontal plane, are fitted to prevent leakage of lubricating oil into the atmosphere.

公開実用平成 2-11274

10/12

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報(U) 平2-11274

⑫ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成2年(1990)1月24日

F 16 J 15/447
F 01 D 11/02
25/16

J

7369-3 J
7910-3 G
6965-3 G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑭ 考案の名称 蒸気タービン軸受のオイルシール装置

⑮ 実 願 昭63-89440

⑯ 出 願 昭63(1988)7月7日

⑰ 考 案 者 平 野 利 雄 兵庫県高砂市荒井町新浜2丁目1番1号 三菱重工業株式
会社高砂製作所内

⑱ 出 願 人 三菱重工業株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目5番1号

⑲ 代 理 人 弁理士 木村 正巳 外1名

減油とモーター 2号ニル積造

公開実用平成 2-11274

11/2

従来の蒸気タービン軸受のオイルシール装置について、第3図に基づいて説明すると、タービン軸1は(すべり)軸受2を介して軸受台下半部3によつて支持され、軸受台上半部4を水平フランジ面で結合することによって、大気と遮断された密閉室が形成されている。

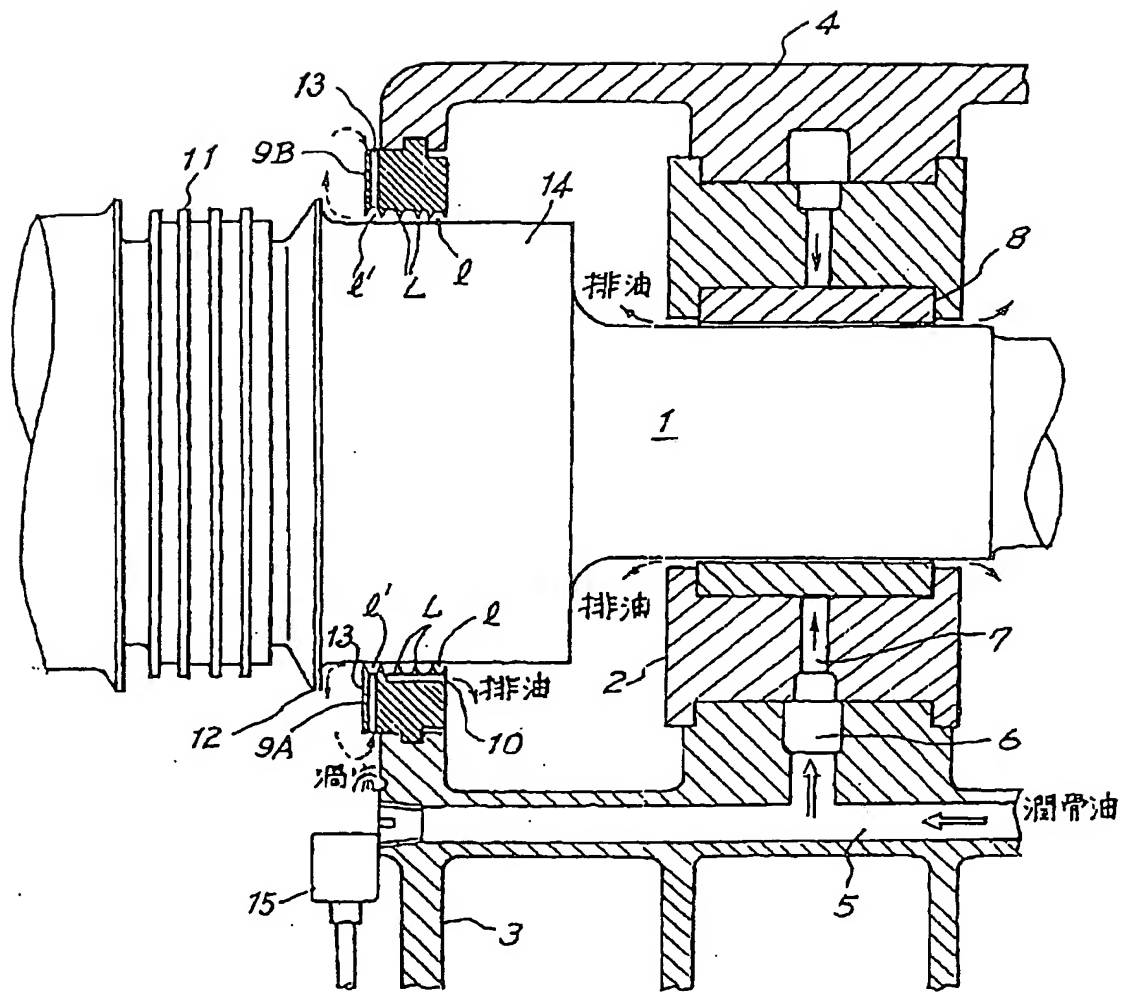
さて、潤滑油は軸受台下半部3に穿設された給油孔5を通過して供給され、軸受2の外周部に設けられた環状系(油溜り)6及び放射状に設けられた複数個の給油孔7を経て、軸受メタル8とタービン軸1とのすきまに適当量供給される。

そして、潤滑を終えた排油は重力によって軸受台下半部3へ流下し、図に示されていない潤滑油タンクに導かれる。

タービン軸1が密閉室を形成する軸受台3、4を貫通する箇所、即ち軸封部には排油が大気側へ漏洩するのを防止するために、水平面で2分割された一対のオイルシールリング9A、9Bが嵌入されている。

図中には一つの例として、オイルシールリング

Fig.3



1003

実開2-11274